



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第25号 令和2年9月1日発行

福島民報出前講座『新聞って何だろう』

「新聞の読み方を知って新聞と仲良くなろう」というテーマで5年生が新聞について学びました。

まず、新聞記事の見方や新聞ができるまでの過程などを学習しました。特に、新聞を読むことで「知らなかったこと」「関心のないこと」「興味のないこと」との偶然の出会いが得られるのが新聞の良さであることを学びました。また、新聞は、記事の内容が見出しに要約されていることや全部を詳しく読む必要はなく興味のある記事を詳しく読むとよいこと等、様々なことを理解することができました。新聞を読むことは、いろいろなことに興味や関心をもつきっかけ作りになります。さらに、文章を読むことで読解力の育成や語彙力の向上にもつながります。今回の学習をきっかけに新聞に興味をもち、進んで読むことができるといいと思います。

【児童の感想】

- 〇 ぼくは、「新聞出前講座」でたくさんのことを学びました。一つ目は新聞の記事の集め方です。自分からインタビューしに行き、正しいか分からないことは別の人に同じ質問をするという集め方をしていると知りました。二つ目は記事を整理したりなどのことは別の所でやるということです。ぼくは、今まで整理したりするのは書く人がやることだと思っていたけど分かれていると聞き驚きました。
- 〇 話を聞いて分かったことは二つです。一つ目は、新聞にはかんたんな読み方があることです。それは、「全部読まない」事です。それを聞いた時、私は、「全部読まない」ならどこを読めばいいかと思いました。それは「見出しに注目」という事だそうです。それで私は見出しに目を通して興味をもった部分を読もうと思います。二つ目は記事は逆三角形になっているという事です。上から最も重要なこと、そして次に重要な事、そしてその次に重要なこと…とならんでいるそうです。私は、新聞が楽しく読めるように今回習った事を生かして新聞を好きになろうと思います。
- 〇 今までわたしは、新聞のことを字がたくさんあって読むのがむずかしくて大人が読むものだと思っていました。でも、今日新聞について勉強して、新聞は読みやすいように工夫されていて、たくさんの情報がのっていて読んでいて楽しいということが分かりました。これからわたしは家に新聞があったらなるべく読もうと思いました。
- 〇 今まで新聞のことを読むのに時間がかかると感じていました。でも、今日新聞のことを勉強して新聞を全部読まなくていいことや新聞が取材をして写真をとったり、こうえつしたりして人がたくさん関わっていると知って新聞はそれを1日でやっていてすごいなと思いました。それに桃太郎を新聞にしたらどうなるのかということも楽しかったし、鬼のがわで新聞を作るとちがう物語に思えたりしました。私はこれから新聞をよく見たりちがうしてんで物事を見たいなと思いました。
- 〇 新聞を完成させるまでにいろんな人たちの手や目を使っていることが分かりました。パズルみたいに文章や写真の位置などを考えながらやっていることがすごいと思いました。
- 〇 わたしは、昔の新聞が写真が全くないのと新聞の見出しは結ろんだということを知りました。最初に「新聞の見出しは結ろんだ」ということを言われてもわからなかったけれど、桃太郎を例にして教えてくれたのでよくわかりました。他にもちがったし点から見た桃太郎で比べてくれたのでとてもわかりやすく楽しくかったです。



